



みゆき

小松市立御幸中学校

学校だより

NO. 8

令和2年9月17日

文責：校長 河南光昭

秋の夕暮れ時、新人大会を前に…

今年は夏休みが短縮され、なおかつ8月中は練習試合も自粛される中で、間もなく小松市新人大会が開催されるようとしています。今週末からの4連休に練習試合を計画し、本番前の力試しと調整に余念がないことと思います。

そんな部活動の練習風景をスナップしてみました。元気に声を出して気持ちを高めている部、和気合い合いとキャッチボールしながらいかにも楽しそうな様子の部、一球に集中する鋭い眼光が光っている部、上手くできないでも上手くなろうとして苛立ちにも似た姿がうかがえる部、チーム連携を確認し合っている部、口数少なくボールに集中している部などなど、それぞれにそれぞれの風景がうかがえました。

今大会は無観客試合で、3年生も観戦することはできません。ですが新人選手の皆さんにはぜひ、御幸中の伝統を継承し「あすおはじく」の「あ」と「は」を発揮する大会にしてほしいと願っています。また、結果を恐れず、この大会が何がしかの自分の新たな課題や目標を見つける大会であってほしいと思います。秋の日が斜陽する夕暮れ時でしたが、コロナ禍にあっても、「学校はしっかり息づいている」と感じる瞬間でした。

なお、校内に目を向けると糸を張り詰めた空気の中で譜面台と先生の指示に従う部員たち、校舎から見える風景を一片の画用紙に収めようと黙々と描き続けている姿もありました。

文化部の生徒たちも自分たちの目標の中で、一生懸命課題と向き合う姿がとても印象的でした。

『Go ahead, Team Miyuki.』

(剣道部の写真がなく、ごめんなさい。)

